●製鐵所罷業の裏面

# 勞友會の秘密

## 一職工よりさして八幡警察署長宛の投書

## 二の大目的の爲め

今回の怠業事件を惹起したる裏面には種々の事情伏在し事は一般の想像しゐたる處なるが一職工よりさして野村警察署長に左の如き投書をなしたるものありこれによる特は今回の怠業の裏面に潜める事情を知るに足るものあり

□今回の怠業を惹起せ[illegible]

しむるに至りたるには二つの大目的あるものにて其内の一つは會員一萬人を作るのが目的で數年後普通選擧實施さるゝにせばち八幡市の職工團より一名の代議士を選出することを得るを以てのみならず一ケ月に會費一千圓も集まるより勞友會が人氣取策として一つは面白半分に增給運動の名にて職工を釣り

□煽動

し衆よくば會の勢力を扶殖し大いに顔を賣らんとせるものにて今一つは同會の副事業として資本金五萬圓の製糖社が出來て居るこの内一[illegible]十株の五百株さなし殘る四萬圓は一般に公募しつゝあつたものにして之は印刷したる

□定欵

によつて知るこさが出來る斯くて完全なる會社を創立し漸次製鐵所の附屬病院に對抗させん計畫にて一面に於てはこれが爲め運動費を得るに便利であるさいふこの二つの目的で勞友會が糸を引いたるものにて之等は全く勞友會が

□秘密

に策したるものにて職工に知られ居らざりしものなりと云へば職工は全く勞友會のために煽動され此の狀に出でたるものらし

# 八幡代表者上京

## 銃を擬して强制

### 暴力の威壓のみ、不平不滿は依然たり、事態まだ容易ならず

### 溶鑛爐の火を焚かせる爲に

### せりと、即ち八幡の沈靜は單に

昨十一日午後一時廿分東京驛着の列車にて友愛會の藤田俊太郎勞友會の淺原鐵三郎工藤與雄並に鐵夫協會の本多眞雄の四君は製鐵所騷擾問題を提げて八幡市より

上京し

直に芝の友愛會を訪ねて鈴木會長に會見し上京後の運動方法に就き種々劃策する所があつた。十二日午前記者が友愛會の本部を訪れると同氏は快く會見し詳に罷工事件の内容を物語る、曰く頭先づ上京の目的を問へば勞友會の淺原君は昂然として語つて曰く「眞情を

開陳し

て天下に訴へる

といふのが第一になつてゐます」と叫び次で「農商務大臣に會ふとか議會開期中に特別な運動をするとかいふことに就ても種々な噂が傳はつてゐる様ですが今のところ未だ明瞭りとした考へはありません」と語る。然し其緊張した一言一語の底にも何等かを行はなければ歸らぬといふ決意が仄見えてゐた。然らば勞友會は今後如何なる

態度を

執らんとするかと問へば四氏は口を揃えて飽く迄當初の目的を貫徹したいといふ決意を物語つた、而して四氏の談に八幡市における職工の氣勢は唯官憲の壓迫によつて一時鎭靜に歸し

政友會聯合會

十三案原案可決

政友會にては十二日午前十時院内[illegible]室に政務調査會と左記議案の特別委員とを[illegible]

[illegible]に函館港訴院移轉費創除の修正を提出する事に決定したり修正の提出者は佐々木和次郎氏なり

政府良目